会話・テレビ・通話・音楽。これ1台で

聞きたい声を、もっと身近に。

耳を完全にふさがない心地よさ。AIで雑音やハウリングを抑える、純骨伝導® × AI。



- 会話
- テレビ
- 通話
- 音楽

約60時間
連続使用

気になるノイズを抑制
騒がしい場所でも、会話を聞き取りやすく

アプリで、聞こえを手軽にチェック
一人ひとりの聞こえに合わせて自動調整

聞こえを会場で体験。販売代理店も募集中

※ 本製品は医療機器ではありません。聞こえ方や使用感には個人差があります。

聞こえの市場に、新しい可能性

聞こえに悩む人は多い。でも、選択肢はまだ十分ではない。



25億人

2050年には、世界の約4人に1人が聞こえに何らかの問題を抱えると予測されています。

WHO, 2021

17%

補聴機器を必要とする人のうち、実際に使っているのは世界でわずか17%。

WHO, 2021

15.2%

日本で聞こえに不安を感じている人のうち、補聴器を持っている人の割合。75歳以上では34.4%が聞こえにくさを自覚しています。

Anovum – JapanTrak 2022

必要なのに、使われないのはなぜ？

1. 「わずらわしい」
2. 「聞こえの低下が軽い」
3. 「元の聞こえに戻らない」

補聴器を持たない理由（日本・JapanTrak 2022）・Anovum – JapanTrak 2022

暮らしの中で、聞こえが大切な4つの場面


家庭での会話


電話


テレビ


おしゃべり

HA-6AIなら、毎日の聞こえをこれ1台で

会話　テレビ　通話　音楽

Anovum – JapanTrak 2022

まだ満たされていないニーズが、新たな販売機会に

出典：World Health Organization, World Report on Hearing (2021) ／ Source: Anovum – JapanTrak 2022

※ 本製品は医療機器ではありません。聞こえ方や使用感には個人差があります。

聞こえの不安に、HA-6AIという新しい選択肢

「使いにくい」を、「毎日使いたい」へ。



よくあるお悩み	earsopen® HA-6AI
× 耳がふさがって、こもる。長時間は疲れる	→ 耳の入口に軽く乗せるだけ。外耳道を完全にふさぎません
× 騒音で声が聞き取りにくい。ハウリングも気になる	→ AIが雑音を抑え、聞きたい会話を聞き取りやすく。ハウリングも抑制
× 補聴器らしい見た目に抵抗がある	→ 見た目はスマートなイヤホン。音楽も通話も楽しめる
× 小さなボタンは操作しづらい	→ 音量・電池残量・モードは画面で確認。音量調整は指でスライド
× 音を調整するたびに来店するのは大変	→ アプリで聞こえをチェックし、結果に合わせて自動調整
× 電池切れや電源の切り忘れが心配	→ 約60時間の連続使用。外せば自動スリープ、動けば復帰

※ 本製品は医療機器ではありません。聞こえ方や使用感には個人差があります。

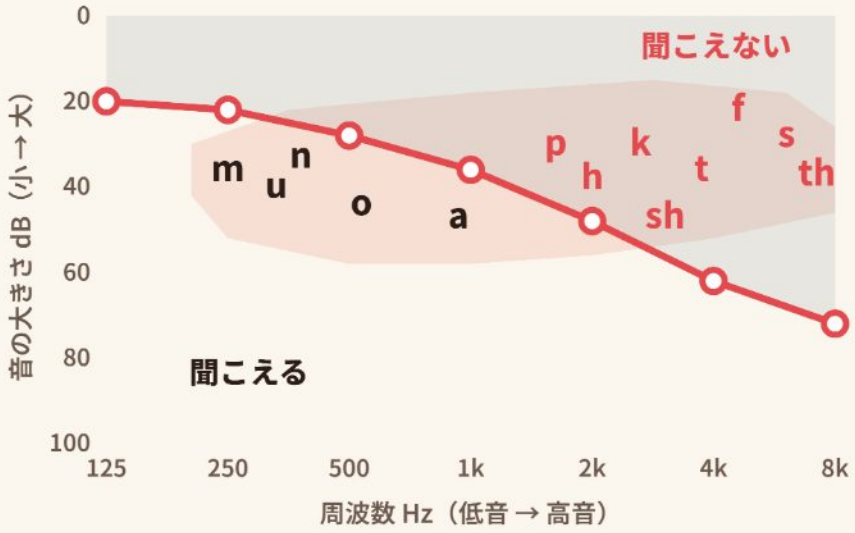


聞こえの変化に、まず気づくことから

「声は聞こえる」のに、「言葉が聞き取れない」。

年齢による聞こえの変化は、高い音から始まることがあります。母音に比べて子音を聞き取りにくくなり、言葉が不明瞭に感じられる場合があります。

オージオグラムで知る、音の聞こえ方



薄い色の部分が会話音の範囲（スピーチバナナ）、赤い線は年齢による聞こえの低下の一例です。線より上の音は聞こえません。母音は残っても、s・k・tなどの子音が聞き取りにくくなります。

高い音から、聞き取りにくくなることも

子音には小さく高い音が多く、声が聞こえていても言葉を聞き分けにくいことがあります。

小さな声は届きにくいのに、大きな音はうるさく感じる

心地よく聞こえる音量の幅が、狭くなることがあります。

音量を上げるだけでは、聞き取りにくさは解消しない

音の高さと大きさに合わせた調整が大切です。

聞こえの程度（WHO 2021、聞こえの良いほうの耳の平均聴力レベル dB）

正常	軽度	中等度	やや高度	高度	重度
< 20	20 – 35 騒がしい場所では会話が聞き取りにくい	35 – 50 静かな場所でも会話が聞き取りにくい	50 – 65 ほとんどの会話が聞き取れない	65 – 80 大きな声でも聞き取りにくい	80 – 95 大きな声もほとんど聞こえない

※ 分類は WHO「World Report on Hearing」（2021）によるものです。オージオグラムはイメージで、聴力検査の代わりにはなりません。



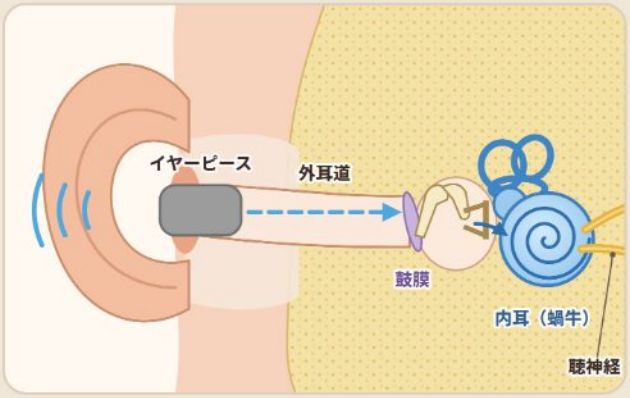
気導方式と純骨伝導®。音の届き方の違い

耳を完全にふさがず、振動で音を内耳へ。

純骨伝導®はBoCo独自の技術。振動ユニットを耳の入口に軽く乗せ、軟骨や骨を通じて音を内耳へ届けます。

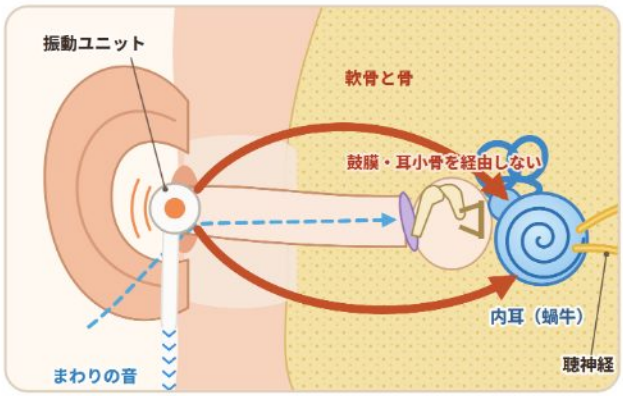
気導（空気伝導）

一般的な耳栓型の集音器・イヤホン

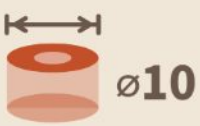


- ✕ 耳がふさがり、こもりや圧迫感が気になる
- ✕ 自分の声が内側に響いて、話しづらい
- ✕ 鼓膜を通して音を届けるため、耳の状態によっては聞こえ方に影響することも
- ✕ 聞こえない音を補おうと、音量を上げすぎてしまう
- ✕ 耳をふさぐ構造では、蒸れが気になることも

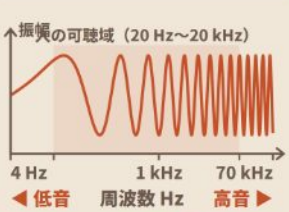
純骨伝導® earsopen® HA-6AI



- ✓ 振動を軟骨や骨に伝え、音を内耳へ届ける
- ✓ 耳を完全にふさがず、こもり感を抑えた装着感
- ✓ アプリで聞こえをチェックし、設定を自動調整
- ✓ 鼓膜・耳小骨を経由せず、振動で音を内耳へ届ける
- ✓ 周囲の音も、自然に取り込みやすい



約 10 mm
振動ユニットの直径



4 Hz – 70 kHz
振動ユニット単体の周波数帯域



東京・大田区
東京の自社工場で、振動ユニットを量産



特許 23件
取得済み（BoCo株式会社）

※ 図はイメージです。周波数帯域は振動ユニット単体の値で、製品全体の周波数特性ではありません。聞こえ方には個人差があります。

ほかの製品とのちがい

補聴器とも、一般的な骨伝導とも。違いをわかりやすく。

販売店さまやお客様から寄せられる、
よくある疑問を比較表で解説します。



Q1 補聴器・一般的な集音器との違いは？

	補聴器	一般的な集音器	earsopen® HA-6AI
製品の位置づけ	医療機器	家電製品	家電製品（集音器）
音の届け方	空気の振動を鼓膜へ	空気の振動を鼓膜へ	骨や軟骨の振動を内耳へ
耳の穴	耳あな型が多い	耳あな型が多い	耳の入口に軽く乗せ、完全にはふさがない
音の調整	聞こえに合わせて調整	製品により異なる	アプリで聞こえチェック。AIが雑音・ハウリングを抑制

Q2 一般的な骨伝導イヤホンとの違いは？

	一般的な骨伝導	純骨伝導®
音の主体	空気伝導の音が中心	骨・軟骨の振動が中心
振動子の当て方	頭の骨に強く押し当てる	強く押し当てず、軟骨に軽く触れる
音漏れ	大きい	小さい
鼓膜への依存	大きい	小さい

HA-6AIは医療機器ではない集音器です。聞こえに不安がある場合は耳鼻咽喉科にご相談ください。

※ BoCo Tec株式会社の技術資料に基づく一般的な比較で、特定の製品を指すものではありません。聞こえ方には、個人差や環境・設定による違いがあります。

純骨伝導®を支える、小さな技術の結晶

特許から振動ユニット、量産まで。純骨伝導®を自社で。

BoCoの特許技術を生かした純骨伝導®ユニットを、
東京の自社工場で量産。HA-6AIに搭載しています。



23件
これまでに取得した特許

⌀10mm
円柱形の振動ユニット

4–70kHz
振動ユニット単体の周波数帯域

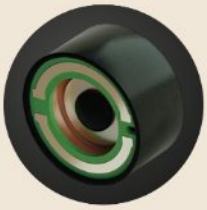
5万個/月
全自動設備1台の生産能力

技術を支える、積み重ねた特許

BoCo株式会社は、骨伝導ユニット・集音・装着方法などに関する特許を23件取得。日本・米国での取得実績もあります。

- **特許第6670356号**
- **特許第7219975号**
  骨伝導メガネ・ゴーグル型（2023年登録）
- **特許第7382677号**
- **米国特許 ほか**





直径約10mmに、技術を凝縮

- ✓ 直径約10mm。耳あな型・イヤーカフ型・耳かけ型など、幅広い形状に応用できます。
- ✓ 電気信号で振動して音を伝え、振動を受ければマイクとしても働く
- ✓ 振動の効率と独自性を追求

振動の余韻を抑え、クリアな音へ



電気パルスのあと、振動が収まるまでの速さを示すインパルス応答。振動の余韻が少ないほど、音のにじみを抑えやすくなります。



東京の自社工場で、振動ユニットを自動量産

生産設備も自社開発。品質の安定と技術の保護を両立し、需要に応じた生産体制を整えています。

1日8時間稼働　1台で約5万個/月

開発も品質も、改善を積み重ねる

※ 特許件数・生産能力・インパルス応答はBoCo株式会社の資料（2026年）によります。インパルス応答の図はイメージです。周波数帯域はユニット単体の値であり、製品全体の特性ではありません。
※ 本製品は医療機器ではありません。聞こえ方や使用感には個人差があります。

聞き心地を変える、大きな違い

気になる「サー」も「ピー」も、抑えて心地よく。

集音器で気になりやすい「サー」というノイズと「ピー」というハウリング。その両方を抑える工夫を重ねました。

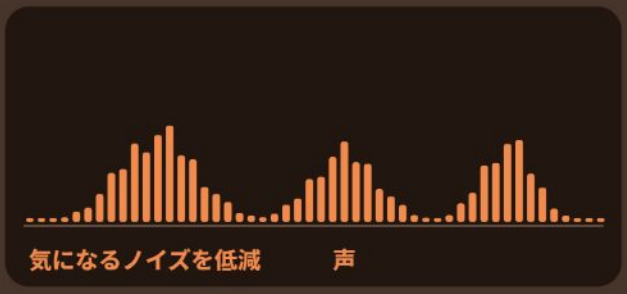


よくある集音器



- × 「サー」というノイズが続いて気になる
- × 「ピー」というハウリングが突然起こる
- × 騒音と声が一緒に大きくなり、会話が聞き取りにくい
- × 周囲のノイズで、長時間の使用が疲れにつながる

earsopen® HA-6AI



- ✓ 静かな場所でも、ノイズを気にせず使いやすい
- ✓ 突然の「ピー」音を抑える
- ✓ にぎやかな場所でも、会話を聞き取りやすく
- ✓ 気になる雑音を抑え、長時間も使いやすく



騒がしい場所でも、会話を聞き取りやすく

室内・屋外・喧騒。3つの環境に合わせてノイズ抑制を調整

室内	自宅・オフィス	弱
屋外	道路・公園など。風切り音にも配慮	中
喧騒	レストラン・カフェ	強

① 純骨伝導®の構造で抑える

振動を軟骨や骨に伝える構造により、音の回り込みを抑えやすい設計。耳を完全にふさがず、自声のこもり感にも配慮しています。

＋

② AIによる音の処理で、さらに低減

ノイズやハウリングをデジタル処理で抑制。周囲が騒がしくても、会話の聞き取りやすさをサポートします。

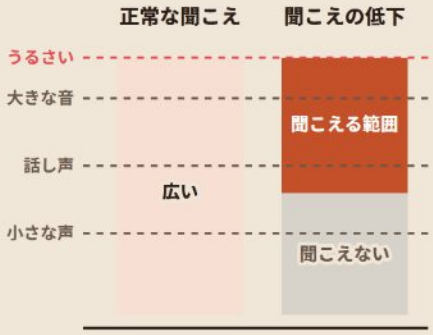
※ 図は音の伝わり方を説明する模式図です。聞こえ方や抑制の感じ方には個人差があり、使用環境や設定によっても異なります。



コア技術① 一人ひとりに合わせる音の補正

小さな声を聞き取りやすく。大きな音は控えめに。

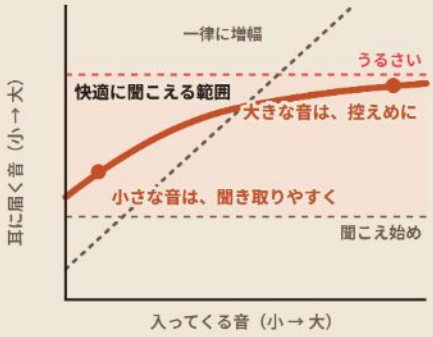
WDRCが音の大きさに応じて増幅量を調整。**小さな音は補い、大きな音は抑えます。**さらに32バンドEQで、聞こえ方に合わせた補正を行います。



課題：快適に聞こえる音量の幅が狭くなる

- 小さな音が聞き取りにくくなる
- 大きな音への不快感は残る場合がある
- その間の範囲が狭くなります。これを**補充現象**といいます

音量を一律に上げると、小さな声は聞こえやすくなっても、大きな音がうるさく感じられることがあります。



解決策：音量に合わせて働くWDRC

- **小さな音を補い**、ささやき声も聞き取りやすく
- **大きな音を抑え**、急な物音の不快感に配慮
- **32バンドEQ**で、聞こえの違いに合わせて補正

実線はWDRCで音を快適な範囲に近づけるイメージ。点線は一定の割合で増幅した場合です。

デジタルマイク ×2
24 bit

→

約2ミリ秒単位で音をデジタル処理

AIで周囲の雑音を抑制 / 32バンドEQ / WDRC / 「ピー」というハウリングを抑制 / 風切り音にも配慮

→

自社開発の純骨伝導振動ユニット
約10mm

32バンド
周波数帯域ごとに、聞こえを補正

5段階
集音レベルを5段階で調整

2ms
1フレームあたりの処理時間

24bit
デジタルマイクで集音

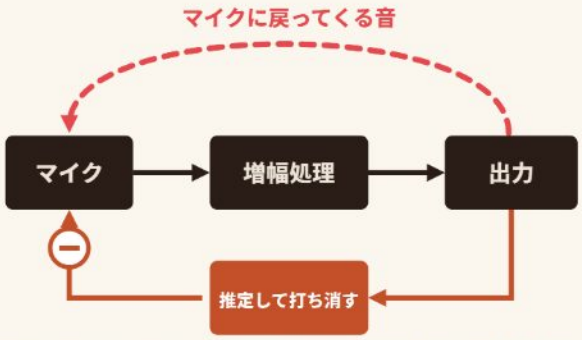
※ 図は原理のイメージです。

コア技術② 「聞こえる」の先へ。「聞き取れる」毎日を。

気になるノイズも「ピー」音も。デジタル処理で抑制。

周波数帯域ごとに雑音を分析し、**会話の聞き取りをサポート**。ハウリング抑制（AFC）は、音の回り込みを推定して打ち消します。



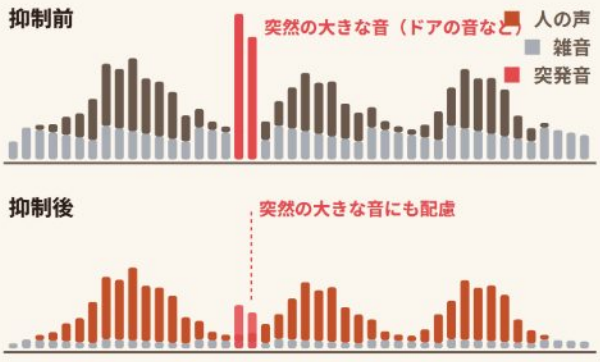


対策しないと、「ピー」という音が繰り返されることがあります

ハウリング抑制（AFC）

- 原因：出力音がマイクに**戻り、繰り返し増幅される**こと
- AFCが音の回り込みを**推定**し、入力信号から差し引きます
- 装着状態や耳まわりの環境変化に合わせて動作します

音量を下げるだけに頼らず、ハウリングを抑制します。



ノイズ抑制

- 音を周波数ごとに分け、**帯域ごとに判断**
- エアコンや車の音など、続く雑音を**抑制**
- 人の声を**残す**ように調整。設定可能な抑制強度は5〜18dB
- **ドアの開閉音など、急な大きな音**も抑制

5〜18 dBは調整できる範囲で、実際の抑制量ではありません。

環境に合わせて選べる、3つの設定

室内・屋外・喧騒に合わせ、ノイズ抑制を切り替え。屋外では風切り音も軽減します。

暮らしの気になる音にも配慮

硬い足音やシンクに響く水音など、身近な生活音もAIが抑制します。

通話時のノイズも抑制

通話中も、相手へ届ける声の明瞭さに配慮します。

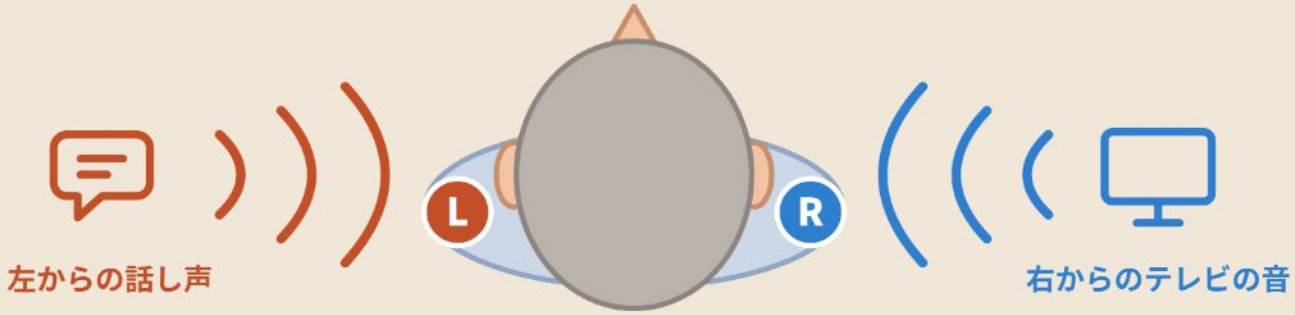
※ 図は原理のイメージです。5〜18 dBは調整できる範囲で、実際の抑制量ではありません。聞こえ方や抑制の感じ方には個人差があり、使用環境や設定によっても異なります。

左右の聞こえと品質を支える技術

左右の音を、左右の耳へ。
音の方向も感じやすく。

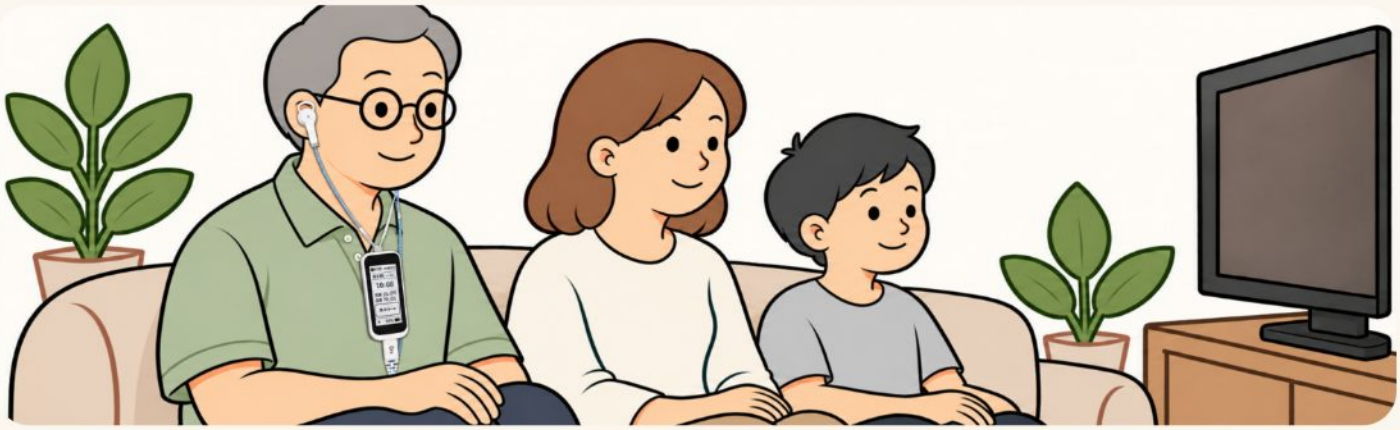


左右の音をそれぞれの耳へ届け、方向感をサポート



左マイク → 左耳　　**右マイク → 右耳**

左右に搭載した高感度マイクが、それぞれの方向の音を拾います。自然な方向感を大切にした設計です。



左右独立の高感度デュアルマイク

左右それぞれのデジタルマイクが音をとらえ、ノイズを抑えた集音をサポートします。

独自開発の純骨伝導®振動ユニット

直径約10mmの振動ユニット。自社開発・自社量産

部品から完成品まで、100以上の工程と検査

一つひとつの工程を確認。品質に妥協しないものづくり

※ 片耳だけで聞きたいときは、左右の音を片側にまとめて出すこともできます。図はイメージです。

少しずつ、聞き心地になじんでいく

自分のペースで、聞こえに慣れていく。



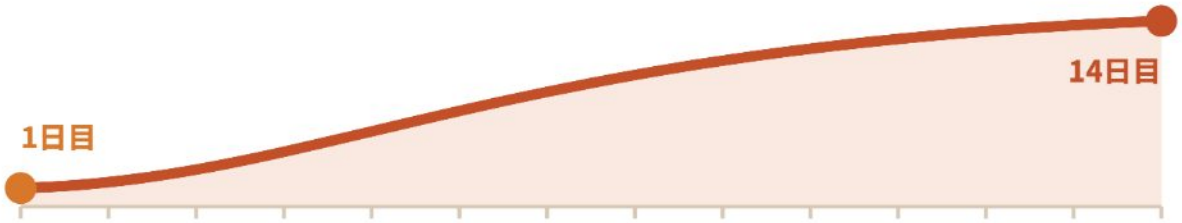
純骨伝導®の聞こえには、慣れるまで少し時間がかかることがあります。使い始めの聞き取りやすさには個人差があります。

1 **毎日1〜2時間**

2 **約2週間続ける**

3 **もう一度チェック**

純骨伝導®の聞こえには、少しずつ慣れていきます



※ イメージ図です。慣れ方には個人差があります。

音量を上げすぎず、心地よく

耳を完全にふさがず、ノイズやハウリングも抑制。必要以上の大音量に頼らない聞こえをサポートします。

約2週間後、アプリが再チェックをお知らせ

最大音量でも聞き取れない音がある場合は、無理に音量を上げず、約2週間後にアプリで聞こえを再チェックできます。

5段階で、無理なく調整

集音レベルは5段階。聞こえ方を確かめながら、少しずつ調整できます。

使っている方の声をお届け

ユーザーやご家族の声を展示でご紹介。実際の聞こえも、ぜひ会場でお試しください。

※ 本製品は医療機器ではなく、難聴の治療を目的としたものではありません。聞こえにくさが続く場合や耳に違和感がある場合は、医師または販売店にご相談ください。



アプリで手軽に、聞こえチェックと音の調整

聞こえたらタップ。自分に合った音へ自動調整。

専用機器は不要。装着して、アプリの案内に沿って4ステップで設定できます。

1 準備
両耳に装着して、年齢を選びます。

2 測定
左右それぞれ8つのテスト音を確認。聞こえたらタップします。

3 設定案
左右それぞれに合わせた補正設定と、おすすめの集音レベルを自動作成

4 反映
設定を保存すれば本体に反映。いつでも再調整できます。



聞こえチェック画面



音色の細かな調整

片耳8つの周波数
250 – 8000 Hz

外れたら自動で一時停止
着け直せば自動で再開

音の好みまで、きめ細かく調整
12バンドで、左右の音色を別々に調整

販売店さまへ：店頭でも訪問先でも、スタッフ1人でその場で設定をサポートできます。

※ アプリの聞こえチェックは医学的な聴力検査・診断ではなく、結果は本機の音の調整にのみ使用します。画面はイメージです。

着け外しを検知する、かしこい省電力設計

着ければ、すぐに。
外せば、自動でおやすみ。





両耳とも装着
L・R表示で装着状態をひと目で確認

片方を外す
外した側を画面ですぐに確認

両耳とも外す
両耳を外して約60秒後、自動でスリープ

外せば、自動で省電力
両耳を外すと約60秒でスリープ。再び装着すると集音を再開します。

音楽も、外すと自動で一時停止
イヤホンを外すと音楽が一時停止。装着し直すと再生します。

手に取れば、すぐ使える
本体の動きを検知してスリープを解除。使わないときは自動で省電力に。

使い始めの誤操作にも配慮
装着直後はタッチ操作を一時的に受け付けず、誤操作を防ぎます。

6軸センサーが動きを検知。使わないときは省電力
一定時間動きがないと自動スリープ。動きを検知すると復帰します。

着けて活動中 → 眠ってしばらく動かない → 使わないときは、自動で節電 → 動きを検知して、自動で復帰

※ 本製品は医療機器ではありません。聞こえ方や使用感には個人差があります。

充電の手間を抑えるロングバッテリー

1回の充電で、約60時間の連続使用。



約60時間 連続使用

1日約8時間なら、約1週間使える計算です

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
8h	8h	8h	8h	8h	8h	8h

※ 約60時間 ÷ 1日約8時間で計算した目安です。

1220 mAh
充電式リチウムイオン電池

約90分
満充電までの時間

USB Type-C
USB Type-C対応。充電ケーブルも使いやすく

使わないときは、自動で省電力
電源の切り忘れにも配慮

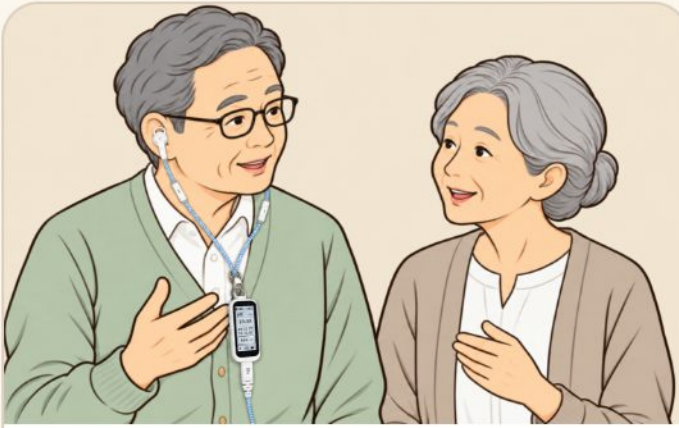
電池残量は本体画面やアプリで確認。アプリでは充電回数や電池の状態もチェックできます。

※ 連続使用時間は当社測定基準によるもので、使用条件により異なります。安全のため、充電中は使用しないでください。

毎日を支える、1台4役

会話も、テレビも。
通話も、音楽も。これ1台。





会話
聞き返す回数を減らして、会話をもっと楽しく。



テレビ
テレビの音量を上げすぎず、家族と一緒に楽しめる。



通話
スマホにつなげば、装着したまま通話。通話後は自動で集音モードに戻ります。



音楽・動画
音楽や動画も、純骨伝導®イヤホンで楽しめます。

Bluetooth 5.3
HFP / HSP / A2DP

周囲の音を聞きながら、スマホの音も楽しめる
音楽も動画も、集音と同時に楽しめる

送信機モード
別売の送信機が必要

※ 発信・着信・終話はスマートフォンで操作します。機種や通話アプリによっては、本機で通話できない場合があります。

毎日を考えた、細部へのこだわり

ひと目でわかる。
毎日使いやすい。





1. 装着状態と音量
2. シーン・ミキシング
3. 時刻
4. 温度・湿度
5. 現在のモード
6. Bluetooth・電池残量

温度・湿度をひと目で確認
現在の温度と湿度を、本体画面とアプリで確認できます。

毎正時に、声で時刻をお知らせ
毎正時に時刻を音声でお知らせします。

表示言語は、販売地域に合わせて拡張可能
標準搭載： 简体中文・繁體中文・日本語・English。販売地域に合わせて、少数言語も追加できます。

IP65の防塵・防水設計
ほこりや雨、水しぶきに配慮した設計です。

持ち運びに便利なストラップ＆クリップ
首から下げても、服に留めても。ストラップは約3kgの力で外れる安全設計です。

左右それぞれ、好みの音量に
左右の音量を個別に調整。片耳だけで左右の音を聞く設定も可能です。

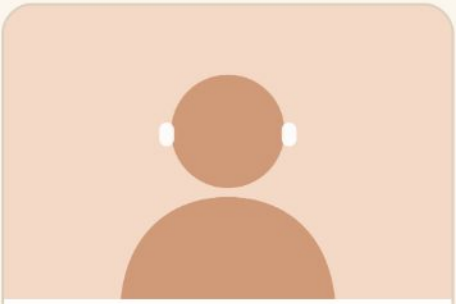
※ 本体 60 × 30 × 15 mm・約55.0 g、イヤホンコード（左右合計）約15.8 g。

お客様の声 ①

食卓でも、テレビの前でも。会話をもっと身近に。

日本・中国・香港・台湾のユーザー
やご家族、販売店の声を紹介します。





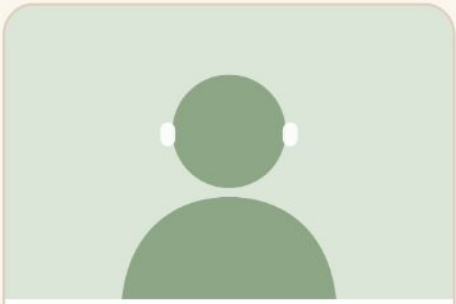
70代・男性 東京

家族との食事

“食卓の会話が、また楽しみに”

前は家族に何度も聞き返して、そのうち黙ってしまうことも。今は食卓の話についていけて、孫に「よくしゃべるようになったね」と言われます。

使用歴 約3か月



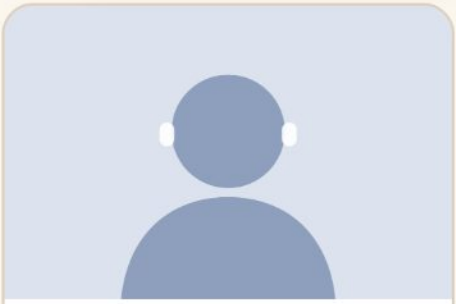
80代・女性 大阪

娘さんが購入

“母が、自分から着けたくなる一台に”

以前の耳あな型は「こもる」「ピーピー鳴る」と、すぐに外していました。これは耳を完全にふさがず、画面の文字も大きいので、電池や音量も母が自分で確認しています。

使用歴 約2か月



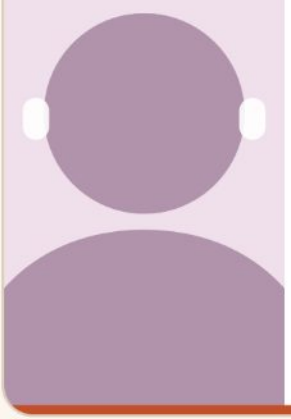
60代・男性 上海

自宅で、テレビを家族と楽しむ

“テレビの音量を上げずに、家族と同じ時間を”

以前はテレビの音を大きくしないと聞こえず、家族に「うるさい」と言われていました。今は家族と同じ音量で十分。夜も近所を気にせず見られます。

使用歴 約4か月



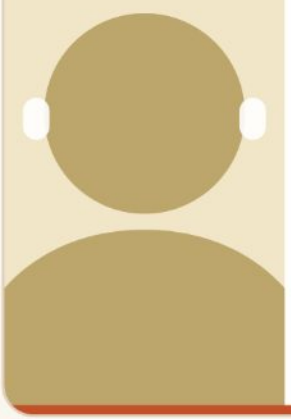
50代・女性 台北

会議の聞き取りも、もっと自然に

“会議でも、席を選ばず話を聞きやすく”

会議室は空調の音が気になり、前に座っても聞き漏らしがちでした。「喧騒」モードにすると声がぐっと聞きやすく、見た目はイヤホンなので、集音器だと気づかれません。

使用歴 約1か月



60代・女性 香港

友人と飲茶

“にぎやかな店でも、会話を楽しめる”

飲茶のお店は人が多くてにぎやか。以前はうなずいて笑うだけでした。今は「喧騒」モードで周りの音が控えめになり、友人の声はちゃんと届きます。おしゃべりがまた楽しくなりました。

使用歴 約2か月

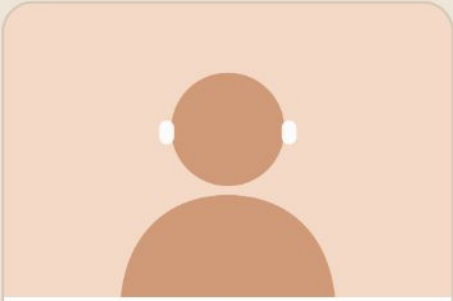
※ 本製品は医療機器ではありません。聞こえ方や使用感には個人差があります。

お客様の声 ②

聞こえだけじゃない。
毎日着けたくなる心地よさ。

日本・中国・香港・台湾のユーザー
やご家族、販売店の声を紹介します。





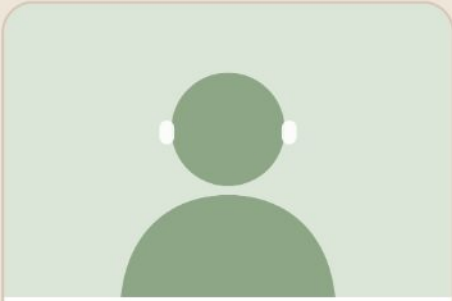
70代・男性 名古屋

息子との会話を、もっと身近に

“電話が来ても、着けたままで”

スマホが鳴ったら、着けたまま通話できます。外してスマホを耳に当てる必要はありません。通話が終わると自動で集音に戻るので、操作もいりません。

使用歴 約3か月



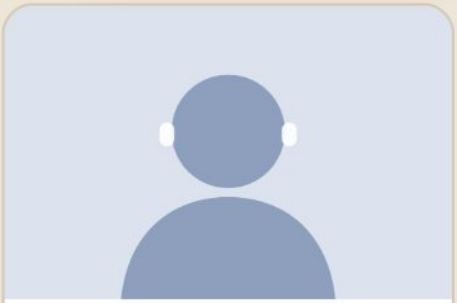
40代・男性 北京

お父さまの聞こえをサポート

“聞こえの調整も、自宅のスマホから”

父はお店に行くのを嫌がります。アプリの案内どおりにチェックすると、左右別々に音が合い、すぐに終わりました。また調整したくなっても、自宅でやり直せます。

使用歴 約2か月



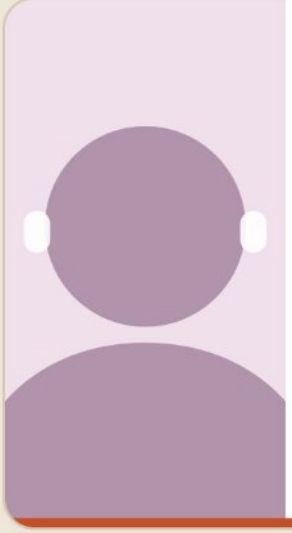
60代・女性 札幌

朝から夜まで、快適に使いたい

“長時間でも、こもりにくい装着感”

耳あな型は長く着けると、こもってかゆくなりました。これは耳の入口に軽く乗せるだけなので、朝から晩まで快適。自分の声も響きません。

使用歴 約5か月



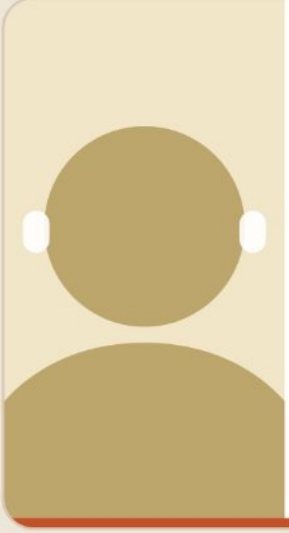
販売店 店長 福岡

店頭で、すぐに試せる・調整できる

“スタッフ1人でも、その場で調整”

ご来店のお客様に試着していただき、アプリでチェックすればその場で調整完了。専用の機器もいりません。お試し期間を設定して、ご自宅で数日使ってから決めていただくこともできます。

取り扱い 約半年



70代・女性 広州

普段使いも、お昼寝のときも

“充電は週1回ほどが目安。切り忘れにも配慮”

充電や電源を切るのを、よく忘れていました。今は充電が週1回ほど。外して置いておけば自動でスリープし、着けたまま昼寝しても気になりません。

使用歴 約3か月

※ 本製品は医療機器ではありません。聞こえ方や使用感には個人差があります。

販売パートナーの業務を、まとめてサポート

売りやすく、管理しやすく。

仕入れ・販売・出荷・アフター
サービスまで、専用画面で一元管理



BoCo-HA

- ホーム
- 組織管理
- 顧客管理
- **機器管理**
- 販売・移動履歴
- アフターサービス

在庫一覧

スキャンで追加 | 出荷

S/N	型番	箱番号	状態
A1B2C3D40001	HA-6AI	20261023D0001	在庫
A1B2C3D40002	HA-6AI	20261023D0001	在庫
A1B2C3D40017	HA-6AI	20261023D0001	出荷済み
A1B2C3D40023	HA-6AI	20261023D0002	試用中
A1B2C3D40031	HA-6AI	20261023D0002	出荷済み

販売店業務を支える専用ポータル

Webとアプリで、在庫・顧客・販売履歴をまとめて管理できます。

スキャンで、入出庫をもっと簡単に

箱単位で入庫、シリアル番号で出荷。スキャンで管理を効率化

販売網に合わせた、多階層の代理店管理

代理店や店舗を階層別に登録。権限と在庫の移動を管理できます。

お試し貸出・レンタルにも対応

機器ごとの使用期限を設定でき、試用やレンタルの管理に活用できます。

販売後も、オンラインで更新

アプリから本体ソフトを更新。販売後の機能改善にも対応します。

対応履歴を、まとめて管理

お客様・機器・対応内容を関連づけ、アフターサービス履歴として記録します。

※ 画面はイメージ、データはサンプルです。ご利用いただける機能は、権限やバージョンによって異なります。管理画面は多言語に対応しています。

開発からお届けまで、一貫して

ひとつの振動ユニットから、毎日の聞こえを支える一台へ。

2018年に純骨伝導®集音器の販売を開始。ユーザーの声をもとに改良を重ね、HA-6AIを開発しました。



● 開発　● ソフト・アルゴリズム　● 製造・お届け

1 **ニーズ調査**
聞こえの悩みや装着時の不満を、日本で調査

2 **自社開発の純骨伝導®振動ユニット**
自社特許を生かし、東京の自動化ラインで量産

3 **デザイン・構造**
画面付きの本体に、IP65の防塵・防水性能

4 **回路・デュアルマイク**
左右のデジタルマイク。Bluetooth 5.3

5 **音響アルゴリズム**
聞こえの補正からAIノイズ抑制、ハウリング抑制まで

6 **組み込みソフト**
装着検知・自動スリープ・多言語表示

7 **アプリ・管理画面**
聞こえチェック。販売店向け管理画面

8 **検査**
部品から完成品まで、100以上の工程で検査・確認

9 **量産・品質確認**
1台ごとにシリアル番号を管理。箱単位で出荷確認

10 **梱包・出荷**
1箱20台。発泡シートで保護

11 **サポート・アップデート**
対応履歴を記録し、アプリからアップデート

→ お客様の声を、次の製品づくりに生かします。

※ 本製品は医療機器ではありません。聞こえ方や使用感には個人差があります。

パッケージから物流まで、考え抜いた仕様

店頭で美しく、物流でも扱いやすく。



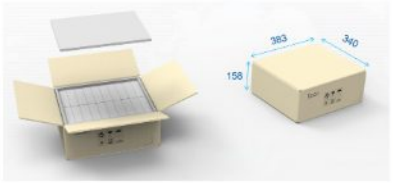


化粧箱



化粧箱サイズ	152 × 116 × 34 mm
1箱の重さ	約259 g（本体・付属品込み、実測）
同梱品	本体（イヤホン付き）・USB Type-C 充電ケーブル・ストラップ・クリップ・イヤキーパー2組・取扱説明書

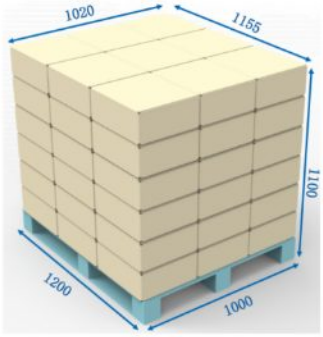
外箱





外箱サイズ	383 × 340 × 158 mm
入数	20箱（2列 × 10）
緩衝材	10 mm 発泡ポリエチレン
1ケースの重さ	約5.6 kg ※

パレット



パレット	1200 × 1000 mm
積み付け後	1155 × 1020 × 1100 mm
1パレット	9ケース × 6段 = 54ケース、1,080台 ※

- 1台ごとにシリアル番号を登録
- 箱単位でシリアル番号を照合
- 未開封がわかるシール付き

※ 1箱の重さは実測値です。1ケースの重さは、259 g × 20箱に外箱と緩衝材（約458 g）を加えた計算値、パレット積みの数量は図から算出した値です。いずれも出荷時の実測を優先します。
※ 本製品は医療機器ではありません。聞こえ方や使用感には個人差があります。

製品の特長とお問い合わせ

音で、つながる日常へ。

耳を完全にふさがない、純骨伝導®
振動を軟骨や骨に伝えて、音を内耳へ

気になるノイズとハウリングを抑制
静かな場所ではノイズを低減。騒がしい場所では会話を聞き取りやすく

AIが環境に合わせてノイズを抑制
室内・屋外・喧騒に、ワンタッチで切り替え

アプリで手軽に聞こえをチェック
4ステップで、聞こえに合わせて自動調整

左右のマイクで音の方向を感じやすく
左の音は左耳へ、右の音は右耳へ届ける設計

約60時間のロングバッテリー
1日約8時間なら、約1週間が目安

装着検知で、かしこく省電力
外したときも、動きがないときも自動で節電

毎日を支える、1台4役
会話・テレビ・通話・音楽。毎日をこれ1台で



同梱品
- 本体（イヤホン付き）
- USB Type-C 充電ケーブル
- ストラップ、クリップ
- イヤキーパー 2組（大・小）
- 取扱説明書

Bluetooth 5.3 | USB Type-C対応。約90分で満充電 | 1220 mAh | IP65 | 本体 60 × 30 × 15 mm・約55 g | 多言語対応

お問い合わせ
BoCo Tec 株式会社
www.boco.com
support@boco.co.jp

聞こえを会場で体験。販売代理店も募集中

※ 連続使用時間は当社測定基準によります。仕様・外観は予告なく変更する場合があります。